

科目名	資格対策講座 3							年度	2025
英語科目名								学期	通年
学科・学年	音響芸術科 2 年次	必／選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	吉田光宏		教員の実務経験		有	実務経験の職種		エンジニア	
【科目の目的】									
ProToolsの設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格であるAvid ProTools210Mの取得を必須とする（この ためにはProTools1&2&3において101と110と201を取得している必要がある）。日本ではこの講座を受講し資格試験を受験できる学校は日本工学院専門学校と日本工学院八王子専門学校のみである。両校においてはAvidに認定を受けた認定講師によって講義が行われ、学生全員がそのスキルを身につける。									
【科目の概要】									
Avidの提供するAvid210Mテキストをもとに授業を行う。210MのMはMusicのMでこのテキストは特に音楽に特化したテキストである。そのためProToolsを音楽制作現場で使用するための高度な機能が多く説明されている。特に高度なのはMIDIの機能である。ここでMIDIの機能を高度に理解することが皆さんの将来に役に立つと思われる。Avid210Mテキストのスキルを習得後、Avid210M認定試験を受験し、全員合格を目指す。									
【到達目標】									
A:MIDI CCデータの使い方を理解し、高度な入力ができる B: アルペジエーターの機能を理解し作曲ができる C:MIDIチャンネルを使用しマルチティンバー音源を使ったBGMを作れる									
【授業の注意点】									
必ずメモを取りながら受講する事。また理解できないことが生じた場合は積極的に質問する事。授業中に私語や居眠りはしない事。授業中に発言を求められた場合は大きくハッキリと答える事（それを習慣付けることによって就職活動にも役立ちます）。パソコンが得意になれるように積極的に使用し、できれば購入する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	MIDI CCデータを使って高度なMIDI入力ができる	MIDI CCデータは分かるが入力はできない	MIDIの入力ができる	MIDIは分かるが入力ができない	MIDIのことがよく分からない				
到達目標 B	アルペジエーター機能とモジュレーションを同期させて曲が作れる	アルペジエーター機能を使って曲が作れる	バーチャル・インストウルメントを使って MIDI入力ができる	バーチャル・インストウルメントで音を出せる	バーチャル・インストウルメントの使い方がわからない				
到達目標 C	MIDIチャンネルを使用しマルチティンバー音源を使ってBGMが作れる	MIDIチャンネルを使用しマルチティンバー音源のパートを使用できる	MIDIチャンネルを理解し使用できる	MIDIチャンネルの事を聞いたことがある	MIDIのチャンネルが分からない				
【教科書】									
Avid認定のProTools210Mテキスト									
【参考資料】									
授業内で配るPDFファイル									
【成績の評価方法・評価基準】									
レポート提出・課題提出・授業内課題、期末試験など。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名	資格対策講座 3							年度	2025

英語表記					学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	Avid210Mの解説	Avid210Mテキストを理解する	テキスト210Mの概要	音楽を扱ったプロツールのテキストであるという事		
			210Mで大切な事	210Mで身につけるスキルの理解する		
			210M試験について	Avid210M試験で出るショートカット等の説明		
2	音源の使用	バーチャル・インストゥルメントを使用する	トラック	インストゥルメントトラックを使用する方法の復習		
			リアルタイム入力	リアルタイム入力の復習		
			ウインドウ	MIDIエディターウインドウの復習		
3	リアルタイム入力	MIDIリアルタイム入力を復習する	クリックトラック	クリックトラックを作成し適切に使用する事		
			リアルタイム入力	MIDIリアルタイム入力ができる		
			クオンタイズ	クオンタイズしてリズムを整えることができる		
4	MIDIの編集	入力したMIDIデータをMIDIエディターウインドウで編集する	MIDIエディター	MIDIエディターウインドウを使用しMIDIの編集ができる		
			楽譜エディター	楽譜エディターウインドウで楽譜を表示できる		
			イベントリスト	イベントリストウインドウでMIDIデータの確認ができる		
5	MIDIビートクロック	ProToolsとバーチャル・インストゥルメントの同期信号の理解	同期とは	バーチャル・インストゥルメントとの同期を知る		
			MIDIビートクロック	MIDIビートクロックでBPMを同期させている事の理解		
			24パルス	同期信号の解像度を理解する。4分音符24パルス		
6	MIDI CC	MIDI CCとは何かを理解する	CCとは	MIDI Continuous Controllerの略である		
			何を送るデータ	MIDI CCでどの様なものが制御できるかの理解		
			CCデータの記録	MIDI CCを自分で設定し記録できる様になる		
7	MIDIチャンネル	MIDIチャンネルを使える様になる	MIDIチャンネル受信	X-Pand2によるMIDIチャンネルの受信		
			MIDIチャンネル送信	ProToolsによるMIDIチャンネルの送信		
			マルチティンバーの使用	X-Pand2を使用しMIDIチャンネルを使ってパート作成		
8	リアルタイムプロパティ	リアルタイムプロパティを使用しMIDIを編集する	復習	リアルタイムプロパティの復習する		
			フローティング使用	リアルタイムプロパティのフローティングウインドウ		
			編集項目	編集できる項目の理解と使用		
9	ダイナミックトランスポート	ダイナミックトランスポートを使ったプレイバックの理解	プレイスタート	プレイスタートマーカーを使用したプレイバックの理解		
			ソングスタート	ソングスタートマーカーを使ったスタート位置の移動		
			適用範囲	ソングスタートマーカーが適用されるトラックの理解		
10	小節 拍マーカー	小節 拍マーカーを使用できる様になる	テンポイベント	テンポイベントマーカーとは何かを理解する		
			小節 拍マーカー	小節 拍マーカーへ切り替えて違いを理解する		
			テンポ検出	小節 拍マーカーを使用しテンポの検出を学ぶ		
11	時間操作ウインドウ	時間操作ウインドウを使用しタイムラインを編集する	拍子の変更	時間操作ウインドウを使用し拍子の変更を行える		
			時間挿入削除	時間を挿入したり削除したりできる様になる		
			スタート位置の移動	時間操作ウインドウを使用しスタート位置を変更する		
12	クイックパンチレコーディング	数種類のクイックパンチレコーディングを使いこなす	クイックパンチ	クイックパンチレコーディングを使用できる様になる		
			トラックパンチ	トラックパンチレコーディングを使用できる様になる		
			ループレコーディング	ループレコーディングを使用しテイク編集を行える		
13	3種類のフェード	3種類のフェードを使いこなす	均一のパワー	通常は均一のパワーを使用することの理解		
			均一のゲイン	均一のゲインの使用用途を理解し使用できる様になる		
			自由なスタイル	自由スタイルの使用用途を理解し使用できる様になる		
14	フリーズ・コミット・バウンス	フリーズ・コミット・バウンスを適切に使い分けられる様になる	フリーズ	フリーズ機能の使用方法和ファイルの出力先の理解		
			コミット	フリーズ機能の使用方法和使用用途の理解		
			バウンス	数種類バウンス機能の使用方法和使用用途		
15	210M試験	210M試験の方法を理解し受験に備える	アカウントの確認	アカウントやパスワードを確認する		
			試験への入り方	210M試験の入り方を復習する。		

			受験方法	受験時の解答方法や採点方法を復習する。	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他					
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった					
備考 等					